



イケケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 563 回 前を走る車の運転者の、心理を探る！

2014.2.9

小生、年寄りに近くなったせいか、いささか長時間の運転が苦手になってきた。疲れるというより、すぐに退屈してしまうようである。これはまずい…ということで、何とか退屈しない方法を模索してきた。その結果最近、こんな「心理テスト」を楽しむことを発見した。

前を走る車を見て、その運転者をプロフィールする。まず超高級な外車、国産高級車、大衆車等の車種、セダンかワンボックスかスポーツカーか等車のタイプ、車の色、整備状態、汚れ具合でそこそこの情報が浮かんでくる。

ナンバープレートからは、地名(管轄支局等表示文字)によりおおよその出身地が推定される。もじ表示は、事業用、自家用、軍人用そしてレンタカーか、一目で分かる。分類番号からは、いわゆる「3 ナンバー」とか「5 ナンバー」といった自動車の大きさや排気量、一般に払い出された番号なのか、希望番号制度を利用して選んだ番号なのかは、分類番号の下2桁で判別できる。だいたい、いつごろ購入したか、車種とのバランスにより中古かどうか、おおよそ想定されるだろう。ここまでで運転者のベーシックなデザインが見えてくる。飽きるところか、だんだん運転が楽しくなってきた。

そして車の運転。普段は隠されているその人の性格がよく表れるといわれている。急ブレーキや急ハンドルが多い人は、アバウトで全体的に大雑把な性格かもしれない。無理な追い越しや車線変更の多い人は、負けず嫌いでかなりわがままな性格であると読み取ることができる。

周りの車の流れを的確に読み、いつも安定した運転をする人は、自己顕示欲が控えめで周囲との協調性のある性格だろう。

前を走る車の運転者は、まったく知らない人だが、たぶん人間関係も安定していて、仕事も効率良くなすタイプかもしれない…と、運転しながら勝手に褒めたりする。

やたらと運転が慎重すぎる人、こういう人は、たぶん根は真面目でよい人に違いない。

が、どこか神経質で、いざと言う時の決断力に欠ける部分がある。

前を走る運転者は、そんなタイプかもしれないな。

いよいよ、運転が楽しくなってきた。

もっと素直にドライブを楽しめばいいのに…

犯罪心理学的プロフィールゲームに夢中になり、高速道路での事故に遭遇しないことを祈りつつ、「イケケン流・飽きない運転方法」の、あまり意味のない披露である。